

## 2. 研究内容について

2026年度

CT画像を用いた人形の頭の形状計測

人形遣い・義太夫・三味線のインタラクション効果

人形と人形遣いの動きの計測

人形の体全体の形状、色、材質の計測

伴奏と人形の動きの分析とロボットの動きの生成

従来研究についてアーカイブデータのための問題点の改善

人形浄瑠璃 AI デジタルアーカイビングシステムの開発

2027年度

CGによる自然な動きを伴う人形アバターの開発

アーカイブデータの収集

2028年度

3Dプリンタ等を用いた新たな人形の製作

人形遣い練習システム

自然な感情表現が可能なロボットの開発

人形浄瑠璃普及のためのワークショップの開催